

質問に対する回答について
工事名）常磐自動車道 相馬工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	信田橋(下部工)設計図 50/58 信田橋 A1 橋台土留工構造図(1)の親杭 H400×400×13×21 は、特記仕様書 27-5-1 構造物掘削 (2) 材料 の特殊部 A5 に記載の「H-300×300×10×15 リース品 福島県 12 箇月 撤去」でしょうか。	特記仕様書 27-5-1 構造物掘削 (2) 材料の特殊部 A5 に記載されている「H-300×300×10×15 リース品 福島県 12 箇月 撤去」は信田橋(下部工)設計図 51/58 に記載の支保工材になります。
2	附帯工設計図 39/59 工事用道路 1 撤去一般図の数量表に「土工 切土 土砂」 9,149.5m ³ が記載されていますが、数量明細表(1/10) ①南相馬 IC～相馬 CI 間 4 付帯工の捨土掘削 土砂 A1 数量は 3,110m ³ しか計上されていません。「土工 切土 土砂」 9,149.5m ³ は数量表のどの項目に計上されているかご教示ください。	工事用道路 1 撤去一般図に記載の数量については捨土掘削 土砂 A1 のみの数量を記載しているわけではございません。 特記仕様書 27-3-4 及び 27-3-6 に記載のとおりです。
3	かやぐらばし(下部工)設計図 70/75 かやぐらばし A2 橋台土留め工構造図(2)の鋼矢板数量表 添接板 PL100×19×220 は、90 枚ではなく、21 枚で積算されているかご教示ください。	「添接板 PL100×19×220」は 90 枚です。 本数×単位質量(3.28)＝質量(0.295)となります。
4	特記仕様書 27-5-1 構造物掘削の構造物掘削 特殊部 A10 かやぐらばし A2 橋台前面の鋼矢板の打込み・引抜きについて、高速道路供用車線から離れているので、「低騒音対策 不要」で積算するとの理解でよいかご教示ください。	特記仕様書 17-5 に記載のとおりです。

5	特記仕様書 27-5-1 構造物掘削の構造物掘削 特殊部B1 ボックスカルバート南相馬47の⑩敷鉄板の設置・撤去について、どこに設置する敷鉄板か、敷鉄板の枚数をご教示ください。	参考図74/90をご確認ください。
6	特記仕様書 27-5-1 構造物掘削の構造物掘削 特殊部B3 ボックスカルバート相馬5の「③ アンカーの孔内挿入、緊張ジャッキによる緊張、クサビ及びナット等での定着及び頭部処理（頭部背面処理を含む）、クラウド注入、鋼製台座の製作・運搬・撤去及びスクラップ処理」について、設計図面に記載がありません。設計図をご提示ください。	函渠工設計図 40/44 のとおり構造物掘削特殊部B3には「アンカーの孔内挿入、緊張ジャッキによる緊張、くさび及びナット等での定着及び頭部処理（頭部背面処理を含む）、グラウト注入、鋼製台座の製作・運搬・撤去及びスクラップ処理」は含まれていません。
7	大野台希望の橋P1とP5の鋼矢板Ⅳ型打設には、割掛対照表参考内訳書の工事用機械運搬費の通り、硬質地盤専用圧入機VL型ー重量38.1tで施工することを想定しているかご教示ください。	割掛対象表参考内訳書の内容に関する質問は受付けておりません。 貴社の施工計画に基づき積算ください。
8	附帯工設計図 51/59 相馬仮置き場A整備工一般図から 58/59 相馬仮置き場D整備工一般図の「土工 切土 土砂」と「土工 盛土」は、数量表のどの項目に計上するのかご教示ください。	特記仕様書27-3-4、27-3-5、27-3-6に記載のとおりです。
9	福島県相馬市は、積雪地域等に該当するので、積算において、機械損料を補正していただけたらと考えてよろしいでしょうか。	機械損料の補正については土木工事積算基準に記載のとおりです。